



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年4月28日

上場会社名 日東化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂下 尚彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部所管 (氏名) 楫野 卓也

TEL 0467-74-3111

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,837	23.3	38	82.3	63	70.9	18	88.0
2020年3月期	7,609	0.9	215	10.8	217	12.1	152	17.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	4.79		0.6	1.1	0.7
2020年3月期	39.82		5.4	3.5	2.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,929	2,850	48.1	742.92
2020年3月期	6,113	2,861	46.8	745.52

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,850百万円 2020年3月期 2,861百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	354	167	96	434
2020年3月期	328	232	171	151

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		8.00	8.00	30	20.1	1.1
2021年3月期		0.00		0.00	0.00	0	0.0	0.0
2022年3月期(予想)								

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,428	4.5	57	49.7	47	25.7	25	36.1	6.51

(注) 1. 当社は、中長期的な企業価値向上に向けた建設的対話促進の観点から、当期より業績予想は通期のみといたしました。

2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	3,840,000 株	2020年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	2,518 株	2020年3月期	2,418 株
期中平均株式数	2021年3月期	3,837,535 株	2020年3月期	3,837,594 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響で、外需の減少や生産活動の停滞、消費活動の制限により景気が急速に悪化するなど、厳しい状況となりました。海外におきましても、欧米各国で都市封鎖（ロックダウン）が繰り返され、ワクチン接種が開始されたものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましても、自動車関連を中心に、受注に大きな影響を及ぼし、緊急事態宣言の解除によって、経済活動にも回復の動きがみられたものの、その後も変異ウイルスの拡大やワクチン普及の遅れ等が懸念されており、今後の感染動向による影響に留意が必要な状況となっております。

このような環境下、売上高につきましては、受注の減少等により前期比減収となりました。また、利益面におきましても、固定費の削減や原価低減に努めましたが、販売の減少影響により前期比減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高5,837百万円（前期比23.3%減）、営業利益38百万円（前期比82.3%減）経常利益63百万円（前期比70.9%減）、当期純利益18百万円（前期比88.0%減）となりました。

（セグメント別の状況）

（コンパウンド事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による厳しい状況が続く中、導電性樹脂ECXの受注は堅調に推移したものの、ゴムコンパウンド、高機能樹脂コンパウンドにおいては、自動車関連を中心に受注が大幅に減少し、前期を下回る売上高となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前期を1,622百万円下回る4,373百万円（前期比27.1%減）となりました。

（ゴム加工事業）

ゴムシートにおける自動車関連での受注が減少したこと等により、前期を下回る売上高となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前期を149百万円下回る1,442百万円（前期比9.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産、負債、純資産の状況に関する分析）

当期末の総資産は5,929百万円となり、前期末に比べ183百万円減少しました。流動資産は2,932百万円となり、前期末に比べ84百万円減少しました。これは主に売上債権が減少したことによるものであります。固定資産は2,996百万円となり、前期末に比べ99百万円減少しました。これは主に設備投資額の減少によるものであります。

負債は3,078百万円と、前期末に比べ173百万円減少しました。流動負債は2,604百万円となり、前期末に比べて231百万円減少しました。これは主に営業買入債務の減少によるものであります。固定負債は473百万円と前期末に比べ57百万円増加しました。これは主に借入を行ったことによるものであります。

純資産は2,850百万円と、前期末に比べ10百万円減少しました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは354百万円の収入となり、前期に対して25百万円の収入増となりました。主な要因は、売上債権の減少と棚卸資産の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、167百万円の支出となり、前期に対して64百万円の支出減となりました。これは主に設備投資の支払額の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、96百万円の収入（前期は171百万円の支出）となりました。これは主に、借入を行ったことによるものであります。

以上の結果現金及び現金同等物の残高は434百万円となり、前期に対して282百万円増加しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	38.5	39.7	42.6	46.8	48.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	54.4	44.6	31.1	26.7	28.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	3.6	4.0	2.6	4.0	4.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	27.4	29.5	61.2	38.3	39.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。

※キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いています。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響や、海外における国際情勢の動向等様々なリスクがあり、依然不透明な状況が続くものと予想されます。

このような事業環境下、当社は、自社の製品群個々の収益力を強化し、環境変化へ柔軟に対応できる収益体質の強化・確立を急ぐ必要がございます。

このためには、市場動向やお客様のニーズを先取りした新技術・新製品開発に加え、生産性向上、原価低減、品質向上などの施策への取り組みを推進し、競争力強化に努めてまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高は3,428百万円、営業利益は57百万円、経常利益は47百万円、当期純利益は25百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	151	434
受取手形	473	426
売掛金	1,659	1,358
商品及び製品	343	308
仕掛品	131	112
原材料及び貯蔵品	183	189
前払費用	13	14
未収入金	58	72
立替金	2	15
流動資産合計	3,017	2,932
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	548	514
構築物（純額）	73	71
機械及び装置（純額）	650	603
車両運搬具（純額）	9	6
工具、器具及び備品（純額）	62	63
土地	1,575	1,575
リース資産	10	8
建設仮勘定	51	45
有形固定資産合計	2,982	2,888
無形固定資産		
ソフトウェア	23	11
その他	3	3
無形固定資産合計	27	15
投資その他の資産		
投資有価証券	20	24
関係会社株式	16	16
繰延税金資産	46	28
その他	1	23
投資その他の資産合計	85	92
固定資産合計	3,095	2,996
資産合計	6,113	5,929

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	28	20
買掛金	1,098	865
短期借入金	1,300	1,390
1年内返済予定の長期借入金	10	20
リース債務	2	2
未払金	106	92
未払費用	56	45
未払法人税等	31	2
未払消費税等	28	18
預り保証金	57	57
預り金	21	21
賞与引当金	68	67
役員退職慰労引当金	25	—
設備関係支払手形	1	1
流動負債合計	2,835	2,604
固定負債		
長期借入金	—	30
リース債務	8	5
退職給付引当金	399	425
役員退職慰労引当金	—	5
資産除去債務	7	7
固定負債合計	416	473
負債合計	3,252	3,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金		
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	0	0
利益剰余金		
利益準備金	174	177
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	769	753
利益剰余金合計	944	931
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,861	2,849
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	1
評価・換算差額等合計	△0	1
純資産合計	2,861	2,850
負債純資産合計	6,113	5,929

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,609	5,837
売上原価		
製品期首たな卸高	245	343
当期製品仕入高	565	490
当期製品製造原価	6,270	4,711
合計	7,082	5,545
他勘定振替高	6	3
製品期末たな卸高	343	308
製品売上原価	6,732	5,233
売上総利益	877	603
販売費及び一般管理費		
販売費	413	339
一般管理費	248	226
販売費及び一般管理費合計	661	565
営業利益	215	38
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	5
保険差益	3	8
その他	0	38
営業外収益合計	11	52
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	0	17
営業外費用合計	8	26
経常利益	217	63
特別損失		
固定資産除却損	3	19
特別損失合計	3	19
税引前当期純利益	213	43
法人税、住民税及び事業税	39	8
法人税等調整額	21	17
法人税等合計	60	25
当期純利益	152	18

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,920	0	0	171	658	829	△2	2,747
当期変動額								
剰余金(その他資本剰余金)の配当				3	△42	△38		△38
当期純利益					152	152		152
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	3	110	114	△0	114
当期末残高	1,920	0	0	174	769	944	△2	2,861

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1	1	2,748
当期変動額			
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△38
当期純利益			152
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1	△1	△1
当期変動額合計	△1	△1	112
当期末残高	△0	△0	2,861

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,920	0	0	174	769	944	△2	2,861
当期変動額								
剰余金(その他資本剰余金)の配当				3	△33	△30		△30
当期純利益					18	18		18
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	3	△15	△12	△0	△12
当期末残高	1,920	0	0	177	753	931	△2	2,849

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△0	△0	2,861
当期変動額			
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△30
当期純利益			18
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2	2	2
当期変動額合計	2	2	△10
当期末残高	1	1	2,850

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	213	43
減価償却費	249	247
固定資産除却損	3	19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	25
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△1
受取利息及び受取配当金	△6	△5
支払利息	8	8
売上債権の増減額 (△は増加)	226	348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△83	48
その他の資産の増減額 (△は増加)	19	△35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△240	△240
未払費用の増減額 (△は減少)	△16	△11
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10	△29
その他	-	△20
小計	364	375
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△34	△41
その他	-	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	328	354
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△229	△167
無形固定資産の取得による支出	△2	-
その他	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△110	90
配当金の支払額	△38	△30
長期借入金の返済による支出	△20	△20
長期借入れによる収入	-	60
リース債務の返済による支出	△3	△2
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171	96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75	282
現金及び現金同等物の期首残高	226	151
現金及び現金同等物の期末残高	151	434

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

A. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、機動的、より効率的な事業運営を図ることを目的に事業別のセグメントから構成されており、「コンパウンド事業」、「ゴム加工事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各事業の主要製品は次のとおりであります。

- ①コンパウンド事業 ゴムコンパウンド、高機能樹脂コンパウンド、樹脂洗浄剤等
 ②ゴム加工事業 シート、マット、成形品

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	コンパウンド事業	ゴム加工事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,995	1,591	7,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,995	1,591	7,586
セグメント利益	210	11	222
セグメント資産	3,959	1,565	5,525
その他の項目			
減価償却費	172	73	246
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	118	55	174

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	コンパウンド事業	ゴム加工事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,373	1,442	5,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,373	1,442	5,815
セグメント利益	18	25	43
セグメント資産	3,526	1,505	5,031
その他の項目			
減価償却費	170	73	244
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	107	37	144

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	7,586	5,815
その他の調整額(注)	22	22
財務諸表の売上高	7,609	5,837

(注)その他の調整額は、報告セグメントではない事業セグメントの売上高であります。

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	222	43
その他の調整額(注)	△6	△5
財務諸表の営業利益	215	38

(注)その他の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	5,525	5,031
全社資産(注)	587	897
財務諸表の資産合計	6,113	5,929

(注)全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社有形固定資産であります。

(単位：百万円)

	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	246	244	3	3	249	247
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	174	144	4	0	179	145

(注)調整額は、全社資産の減価償却費及び設備投資であります。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、機動的な組織を構築することで、より効率的な事業運営を図ることを目的とした組織変更に伴い、報告セグメントの区分を従来の「ゴム事業」、「樹脂事業」から、「コンパウンド事業」、「ゴム加工事業」に変更しております。

なお、前事業年度のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

B. 関連情報

前事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所有している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント
TOYO TIRE(株)	2,599	コンパウンド事業
三菱ケミカル(株)	1,014	コンパウンド事業
愛知タイヤ工業(株)	984	コンパウンド事業

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所有している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント
TOYO TIRE(株)	1,951	コンパウンド事業
三菱ケミカル(株)	891	コンパウンド事業

C. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

D. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

E. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	745円52銭	1株当たり純資産額	742円92銭
1株当たり当期純利益金額	39円82銭	1株当たり当期純利益金額	4円79銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。
算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	2,861	2,850
普通株式に係る純資産額(百万円)	2,861	2,850
普通株式の発行済株式数(株)	3,840,000	3,840,000
普通株式の自己株式数(株)	2,418	2,518
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	3,837,582	3,837,482

2 1株当たり当期純利益

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益(百万円)	152	18
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	152	18
1株当たり当期純利益の算定に用いられた 期中平均株式数(株)	3,837,594	3,837,535

(重要な後発事象)

該当事項はありません。